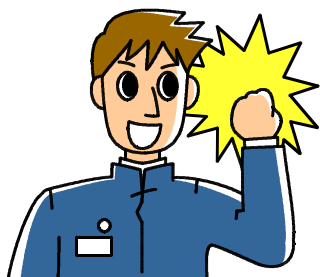


はじめの一步



『実習生に救われました』

～ ある就労支援員さんの話より ～

進路指導主事 田野辺智光

前期の現場実習が無事に終了しました。それぞれの現場実習先では、さまざまな出会いがあり、関わり合いがあります。

障害者の就労支援に携わる就労支援員さんから、こんな話をいただきました。

ある実習先でのことです。そこで働く障害者Aさんの話。Aさんは就職してまだ1年ほど。そこへ当校の実習生がお世話になることになり、Aさんが実習生の指導役になってくださいました。とても親切、丁寧に仕事を教えてくださり、おかげさまで実習生も無事に達成感を得て、実習を終えることができました。

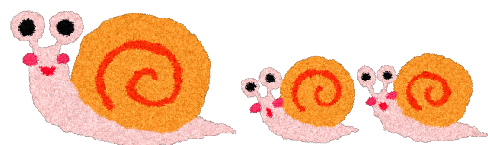
後日のことです。Aさんを担当する就労支援員さんから学校に感謝の言葉が……。その内容は、「実は、Aさんは仕事を続けるかどうか悩んでいて『辞めたい』とも言っていたのですが、そこへ実習生がやってきて、あまりにも素直に真面目に一生懸命にがんばる姿を見て『もう一度考え直しました。辞めたいなんて言ってちゃいけない。自分もがんばってみます。』と話して、またがんばり始めたんです。」というものでした。

なんて素晴らしいことでしょうか。当校の実習生のがんばりによって一人の社会人が救われたのです。よりよい社会人を目指して学ぶ当校生徒の姿に、感化される社会人がいる。礼儀正しく、素直に指示を聞き、真面目に取り組む当校の実習生、その一生懸命な姿を見ている人はちゃんと見てくれている。時にはその姿に勇気づけられる大人もいる……と思うと嬉しい気持ちでいっぱいになりました。生徒たちに「ありがとう」と言いたい気持ちになりました。また一つ、「働くとは何か？」について思いを深めた出来事でした。

これからも、素直に、真面目に、誠実に取り組む生徒たちを応援したいと思います。「一生懸命な姿はカッコいい！」そんな姿をますます地域に発信していきたいと思います。

さて、次回の実習は10月30日～11月24日の期間にあります。進路相談を深め、一人一人の目標や課題に向けて取り組んでいきたいと思います。

今回の進路だよりは、高等部保護者の皆様から書いていただいた実習アンケートを紹介させていただきます。今後とも保護者の皆様と一緒に学び、子供たちの学校卒業後の社会参加に向けて地域へ働き掛けていきましょう。



Q 1 今回の実習でお子さんにどんな成長が見られましたか？



- 朝の出かける時間に合わせて身支度ができるようになりました。
- 髭剃りなどの身だしなみや着替えの準備を自分でできるようになりました。
- 早起きをして、実習に持って行くお弁当のおかず(卵焼き)をほぼ毎日作っていました。今回の実習への意気込みを感じました。
- 家でも、以前より自分から手伝いをしてくれるようになりました。
- 2週間がんばって学園から実習に通い、久しぶりの帰省でした。家では大変元気でした。
- 今のところ普段と変わりません。
- 親が何も知らなくてごめんなさい。本人が何も言わないので実際のところよくわかりませんが、担任の先生からお話をお聞きしてがんばってたんだなあ・・・と知りました。家では特に変化なしです。すみません。
- 毎日、「今日やったこと」「がんばったこと」を話してくれました。
実習ノートにも「おほめの言葉」が並んでいるのを本人が読んで、「明日もがんばる！」という気になっていたようです。
- 実習内容のバリ取りを「早く、丁寧にできるようにでなりたい！」と本人が言っていたのに驚きました。今までは雑でも早ければいいんだ！という考えの子だったので、自分から「早く、丁寧に」と思ってやっていたんだと思うと成長したなあと嬉しくなりました。
- 昨年の実習でもいろいろなことを学ぶことができました。今回は3週間と実習期間も長くなり、接客をしたり盛りつけをしたりして、前回とは違う作業ができ、成長したなあと思いました。
- 2度目の実習先でした。以前より大人になったのか、実習に対する心構えが少し身に付いたのか、初日はとても緊張していました。朝食も少なめにしか食べられませんでした。良い緊張感をもって取り組んでいることに成長を感じました。仕事をする場所として真剣に取り組まなければならないと認識できているのだと思います。体調も良く、しっかりと実習期間を無事に終えることができ安心しました。
- 初めの頃は不安そうにしていたのですが、自分が何をやるのか理解してからは安定してきた気がします。実習先の皆様と交流できた場面もあったようです。
- 自分から実習前に「床屋に行きたい」と言ったこと、徒歩での通勤のため一度下見に行ってきたのですが、実習前に「もう一度一人で歩いて行ってみる」と言って出かけたこと、実習に対する心構えができたと思いました。また、実習中も「どんな風にしたら良いか」と母に相談してきたりして、自分から積極的に取り組もうという気持ちが態度に表れていました。
- 会話をするとき、相手の顔を見て話を聞いてくれるようになったと思います。
- 以前に比べると、作業に集中する力と体力が身に付いてきたように感じます。
- 実習に行ってきたからでしょうか、家以外でも声が大きくなったと言われました。少しずつ自信につながっているのだと思いました。

- 今回は食品班で、暑かったり立ち仕事だったり、他まわりの声が気になったり・・・だったのですが毎日「がまんが大切」と自分で自分に言いきかせているようでした。少しずつでもがまんすることを自分で意識してがんばれるようになってきたんだなと思いました。
- 「疲れた」と言っていました、無事にやり遂げられ自信がついたようです。「他の仕事にも関わってみたい」と興味や意欲が見られました。
- 前は送迎バスでしたが、今回は自分で歩いて出勤だったので緊張感もあり、あまり遅くならないようにと家を出る時間に気を付けていました。スーパーでの実習でしたが、効率の良い箱の開封の仕方や並べ方の工夫を学んできたようです。今後の活動で生かせるかもしれないと思いました。自分が並べた商品が売れて無くなっている事に驚き、販売業の喜びを感じてきたようです。
- 3週間という長丁場でしたが、前回と同じ実習先で皆様から可愛がっていただけて、本当にありがたかったです。スタートが土日の感謝祭という事で少々心配ではありましたが皆様から請われての感謝祭参加でしたので、やりがいもあったと思います。しっかり取り組めたと思います。

Q 2 実習を通して、保護者の方が学んだことや感じたことをお聞かせください。



- いつもより早く就寝。親が思っている以上に、本人は疲れていると感じました。
- 今までよりも身だしなみをしっかりと出かけるようになったと思います。
- 周りの人に嫌われないように、清潔面に気を付けられるように声かけを続けていこうと思いました。
- 何でもそうですが、初めに細かくきっちりとルールを教えてもらって習った通りにやろうとするので、絵や映像などでしっかりと覚えさせてもらえると助かるなあ・・・と思います。我が子は手先を使う仕事よりも体力勝負的な仕事が向いていると思っています。
- そんなこともできるんだ！という発見がありました。
- 今回は校内実習で一週間のバリ取り作業でしたが、同じ作業を続けるのは苦手じゃないかと思いました。でも毎日の様子を見てみると（実習ノートなどに書いていただいたことも含め）少しずつでも「丁寧に」「早く」やれるようになったみたいなので、何事も本人がやってみる前に「できないんじゃないか」と決めつけてはいけないと反省しました。
- 以前は難しいために、この作業は無理だろうと思っていた箱折り作業にも挑戦でき、少しずつコツをつかめていたとの話を聞き、卒業後の進路について改めて考える機会になりました。仕事をするに対して、諦めていた部分が多かったのですが、少し希望がもてたように思います。
- 今回の作業内容、親としては不向きかな・・・と思っていましたが、本人は「俺に向いていると思う」と言って話してくれたので、どんなことでも、やってみないとわからないんだと考えさせられました。やらせてもらえて良かったです。
- 本人が自分でしたいことを親がセーブしている部分があると思いました。自立するにはやりたいこと、できることをもっと増やしてあげないといけないと思いました。

- お年寄りと話をしたり、一緒に作業したりしている姿を見ると、人と話をして関わっている仕事の方が良いのかなぁと思いました。
- 楽しんで実習しているように感じました。将来の仕事も、自分でやりがいのある仕事に就いてもらいたいと思います。
- 親の考えとしては、せっかく学校で企業の事を学んだりしているみたいなので、卒業後は、一般企業に就職してもらいたいと思っています。
- 周りの方々の理解と協力が大変必要であります。真面目に取り組めば認めていただけるのだからぁ・・・と感じ、我が子がやり甲斐を感じることでできる職場探しに取り組みたいです。
- 初日から体調を崩してしまい、実習先の皆様に迷惑をかけてしまいました。働く基本は体力であることを改めて実感しました。また、休憩時間の過ごし方がわからず、苦痛を感じていたようです。実習を通して今後の課題が見つかりました。
- 実習先については、本人と何回も相談して決めました。やりたいことをまずはやらせてみることで今回は良かったと思っています。
- 実は、先生から勧められて決めた実習先でありましたが、予想以上に本人は「楽しい」と言っていたことに驚きと嬉しさがありました。親の考えること、親の決めつけ、親の思い込んでいることが全てではないと改めて感じました。
- 家の前まで送迎バスで迎えに来ていただいてありがたかったのですが、将来のことを考えると、バスの通る道まで自分で歩いて行った方がいいかも・・・と考えました。
- 送迎バスに乗り遅れないようにに時間を守ることは特に大事ですが、歩いて通勤の場合も、安全に注意してある程度の余裕をもって出勤できるように動くことが大事だと思いました。労働は緊張感もあり、学校生活より疲労もあるので、帰宅後の休憩時間を決めて、なるべく早めの就寝を心がけました。起床もスッキリできるように規則正しいリズムをつけて生活していくことが課題だと思いました。体力、健康が第一なので食事時間や間食の取り方も注意しました。
- 卒業後、施設に入所した場合、現在の生活においてテレビ、タブレットを多用していることがネックになりそうです。今回実習した施設では個人持ちのテレビはNG、タブレットやスマホもNGのルールがあり、これからどうやってこの対策をしていくか考えていかなければならないと思いました。
- なかなかできないことや苦手なこともあったようですが、繰り返し教えていただいでできるようになったり、それでもやっぱりできないことは本人にできるやり方にしていただいたりしました。向き不向きもあると思うので本人の特性に合うように考えてくださって、ありがたかったです。できることをがんばることができて良かったと感じました。
- 仕事を続けていくには、一つ一つの作業をきちんとすることはもちろん、日々の規則正しい生活や体力、職場の方々と仲良くやっていける力などこれから身に付けていかなければならない力がたくさんあると思いました。



Q 3 今回の実習で気付かれたこと（次回の実習についてや社会参加について思うことなど）をお聞かせください。



- 校内を出て現場実習に出る大変さに改めて気付きました。
- 高等部での実習を通して、本人が卒業後に続けていける仕事内容が見つければいいなと思っています。
- 2週間箱折り作業だけだったのですが、バリ取り作業とか他の仕事もできたらいいと思いました。
- 今後の実習で様々な経験をして、自分に合った仕事を見つけられるといいなと思いました。
- 最初はとても緊張していたのですが、少しずつ慣れてきた時点でおしゃべりの注意を受けたので、次回はもっと真剣にがんばってほしいと思います。
- 本人が毎日やりがいをもって楽しく仕事ができる環境が見つかると思いいます。
- 次回は内容はともかく、一般企業で数週間の実習をすることを勧めています。
- 今回、第一希望の実習先ではありませんでしたが、お客様対応のあるスーパーで実習できたので大変良い機会になったと思います。朝礼の声出しは少々苦手なようでしたが、返事やあいさつ、お客様対応を実践して良かったと思いました。これを機会に自信をつけて夢を膨らませ、今後の実習に挑戦し、力をつけていければ良いと思います。今度は親も時間を作って実習の様子を見に行きたいと思いました。
- 乗り合いタクシーの降車場所から距離があり、だいぶ長く歩く場所だったので少し心配していましたが、本人は「全然大丈夫」と言っていました。やっぱり親がいない所では、何でもしっかりできるんだと思いました。
- 今回の実習のように家からお仕事に通って、家で一緒に生活していけるといいなと思います。
- 入所施設には幅広い年齢の方々がたくさんいました。たぶん我が子は、人に対しての問題はほとんどないと思っていますが、ドア等の物に当たる癖をどうしたら良いか？一緒に考えていただけるとありがたいです。
- 前回よりも積極的に行動ができるようになってきたと思います。次回は、もっと自分から積極的に話ができたなら良いのかなあとと思っています。実習でいろいろ経験したことで自信にもつながり、成長できたのではないかとと思っています。
- 就労となると実習とは異なり期間がなくなり、ずっと続きます。継続していける力を身に付けてほしいと思いました。
- 体調面の心配もありますが、できる可能性があると感じました。これからの実習を通して改めて将来について考えたいと思います。
- 真面目に取り組んでいれば周りの人たちは必ず見ていて認めてくださる！ということを改めて感じました。
- 作業内容も本人に合っているようでした。実習先の皆さんがとても温かく、実習ノートのコメントがとても励みになりました。お忙しい中、実習させていただいていることに感謝しています。

（保護者のみなさん、実習アンケートのご協力
たいへんありがとうございました。）

健康、安全に心がけ、
有意義な夏休みをお過ごしください。
9月にまた元気で会いましょう。



『第4回進路教室』のご案内

9月の進路教室は、外部講師を招いてのPTA講演会を兼ねて実施いたします。

今回のテーマは、金銭管理の問題です。「もしも一人で暮らしたら～かしこいお金のつかい方～」と題して知的障害者を対象に金銭の自己管理能力を身に付けることを目標にした研修会です。当事者はもちろん、支援者にも勉強になる内容です。

講師に島貴正人様(ライフマネー研究会代表)と鈴木佳江様(ライフマネー研究会主任講師)のお二人をお招きして開催します。

なお、今回の研修会は魚沼市社会福祉協議会主催、魚沼市自立支援協議会と当校の共催という形で開催することをご承知おきください。

日時、場所は下記の通りです。とても貴重な学びの機会です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 : 9月15日(金) 午後1時30分 ~ 3時

場所 : 小出特別支援学校プレイルーム

お問い合わせ等ありましたら進路指導部までご連絡ください。

県立小出特別支援学校 進路指導部 (田野辺智光)

TEL 025-792-5412 FAX 025-792-9270

* 一歩、一歩、少しずつ、
今の自分にできることに
一生懸命、取り組もう！

